



2021年12月16日

各 位

上場会社名 株式会社アイケイ
代表者 代表取締役会長兼CEO 飯田 裕
(コード番号 2722 東証・名証 第一部)
問合せ先責任者 常務取締役管理統括 高橋伸宜
(TEL 052-856-3101)

オフプライスストアを展開する株式会社サーズへの資本参画のお知らせ

グループの存在意義 (Purpose) として、“私たちの商品を通じて、お客様の生活満足度向上と持続可能な社会を実現すること”を掲げ、ダイレクトマーケティング事業、セールスマーケティング事業、ITソリューション事業を手掛ける当社は、オフプライスストアを展開する株式会社サーズ (本社：北海道札幌市、代表取締役：森永 敬和、以下サーズ社) が、新たにオフプライスストアを展開する会社 (株式会社 NON-WASTE (本社：東京都港区) を新設することから、当該会社に資本参画 (当社の出資比率 18.86%) をいたしました。

1. 株式取得・資本参画の目的

2021年7月13日に「中期経営計画 IK Way to 2024」公表させて頂いた通り、当社が持続可能な成長率をもって存続しつづけるための重点施策として、「キャッシュフロー経営へのシフト」を掲げております。

特に、CCC (キャッシュ・コンバージョン・サイクル) とPB商品の強化に対して重点的に取り組むべき指標であり、具体的に下記数値を掲げております。

	2021年5月期	2024年5月期
CCC	83.4 日	71.3 日
PB比率	65.4 %	80.0 %

※CCC : 棚卸資産回転期間+売上債権回転期間-支払債務回転期間

※PB比率 : 売上高全体に占める当社オリジナル商品 (プライベート商品) 比率

当社のビジネスモデルにおいてCCCの短縮化を進めていく上で重要となるのが、棚卸資産回転期間の短縮化であり、今後PB比率を高めていく上では、特に棚卸資産保有高についてバランスを取りながら適正水準以下にコントロールしていくことが常時求められます。

一方、サーズ社は1997年の創業以来、商品の出店戦略やプロモーション事業のみならず現在では、店舗運営事業の委託までを請け負うと同時に、オフプライスストアの展開を加速させております。

現在、当社が抱える経営戦略上の課題であるCCCの短縮化・棚卸資産保有高の適切なコントロールにおいて、サーズ社が強みとして展開を加速していくオフプライスストアの領域で、連携を加速していくことを目的として、資本参画をいたしました。

2. 業績に与える影響

当連結会計年度の業績への影響は現時点では軽微と判断しております。

以上